

# 八雲

第54号  
(平成29年10月発行)



(写真：1967(昭42)年体育祭 ※高校第18・19・20期生在学中)

## 大東高校校歌

一、勝田の森の奥深く

文の林に分け入りて  
学びの花を摘まんな  
袂の花のほこらひに  
我が青春は謳うべし

二、夕影たかく秋深き

織部の山に風かよふ  
かの夕づつの訪おもとひを  
返らぬ夢ときくなれば  
手をとりていざ共に哭け

三、理想の洋うみは遙かなり

真理の道の遠ければ  
あゝ、カルデアの牧人が  
尋ねし星を今更に  
中天高くよまんとす

四、東天高く曙の

光は走る今にして  
平和の鐘のひびくとき  
自由と愛の舵をとり  
いざ大瀛だいえいに棹さ、ん



## 百年の歴史に思いを馳せる

八雲会会長

安原重隆

全国各地でご活躍の卒業生の皆様お元気ですか。

私は今、ここ数年の関東・関西・広島支部会へご出席の皆様や地元支部会・本会等へご出席の皆様、そして八雲会や百周年記念事業へご寄付を振込んでいただいた皆様、さらには地元でご寄付をお寄せいただいた多くの皆様の思い描き、なんとお礼を申し上げていいやら、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

農学校として創立以来の卒業生は1万3千名を超えていますが、亡くなられた方もあり、現在この機関紙「八雲」は、6,500部を印刷し全国各地へお送りしています。

### ○百周年記念事業の準備状況

大東高校創立百周年記念事業は、卒業生会・部活動後援会・PTA・大東高校の4者で実行委員会を組織し、おおむね順調に準備を進めています。

「記念式典」は、平成30年10月6日（土）、在校生に加えPTA・卒業生の参加も促し、大東高校体育館で行います。「記念整備事業」は、前庭の整備、バスの購入、緞帳の更新等です。「記念祝賀会」は、式典後大東交流センターで行います。「寄付活動」は、おおむね当初の目標を達成しましたがまだ受け付けています。

### ○記念誌刊行と投稿のお願い

記念誌については、昭和57年に587ページからなる「大東高等学校六十年誌」が刊行されており、学園誕生の背景、農学校、実業女学校、高等女学校、高等学校の各時代が詳しく記述されています。その後、70周年、80周年、90周年に追録という形で十年誌が刊行されています。

今回はそれらを含めた百周年記念誌ですが、極力要点を絞って、特に「読みやすく、分かりやすいビジュアル型の記念誌」という方針で編纂されています。私たちが体験した場面のある「写真で見る教育100年の歴史」とでも言えるかと思えます。

90年まではほぼ編纂できていますが、あとの10年については今在校の先生方に鋭意努力していただいています。

卒業生の皆さんの「投稿（400～600字程度）」も前号で募集しましたが、記念誌担当からも指名してお願いする計画です。この「百周年記念誌」は在校生等に配布しますが、希望の方にも実費3,000円程度で差し上げます。

### ○満州へ連れ出された女子学生のこと

昭和20年3月、本校が高等女学校時代に女子生徒18名が「皇国農村学徒報国隊」として満州へ連れ出された特集番組が、去る8月15日早朝NHK「おはよう日本」で、約5分全国放送されました。

その前日夕方、少し詳しく編集された番組が「しまねっと610」で松江放送局から島根県内へ約10分放映されました。（別掲）

### ○大東高校の現況

終りになりましたが、大東高校の生徒諸君は文武両道すべてに頑張っています。加えて地域との提携を強めようと朝夕元気よく挨拶を投げかけてくれます。今生徒数減少の傾向にあり、遠方からの生徒募集にも力を入れ、「通学を支援する会」では、現在1年生3名の下宿のお世話もしています。

全国各地でご活躍の卒業生の皆様！ どうぞ大東高校の過去現在未来へ思いを馳せてください。卒業生の皆様は、まさに大東高校を經由して今の人生であるかと思えます。ご健勝のほどお祈りいたします。





## 八雲会会員の皆様へ

校長 中村 訓子

うだるような暑さの中、滴るような山の緑と蝉の声、青々と広がる稲田のたずまいに、改めて季節の力を感じた今年の夏でした。八雲会の皆様におかれましてはますますご健勝でご活躍のことと存じます。

皆様には、平素より、本校の教育活動に様々な形でご支援ご協力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

私はこの4月に校長として着任いたしました中村と申します。着任以来、折にふれ、卒業生の皆様、地域の皆様の本校へお寄せいただく熱い思いを強く感じているところであります。4月の八雲会関西支部会には教頭が、7月の広島支部会、8月の阿用支部会には私が出席させていただきました。いずれの会も和やかで温かく、母校への熱い思いを直接伺うことのできた会でした。

高校の教育は、社会情勢の変化を受けてこれから大きく変わろうとしていますが、これまで皆様に愛され、大切に育ていただいた大東高校が、変化の時代に新しい一歩を踏み出し、地域の力となるよう、教職員一体となって教育活動を進めていきたいと考えています。

さて、母校、大東高校は今年度から1学年3クラスとなり、全校生徒323名でスタートをしております。生徒・教員の数減りましたが、6月に行われた県高校総体では、Bグループ（学校規模でのグループ）で男女総合第2位（公立高校では1位）と健闘しています。

中国大会へはバドミントン部、剣道部、空手道部が出場し、空手道部女子は接戦の末、第3位を勝ち取り14年ぶりに表彰台に上がりました。また、バドミントン部男子は中国大会団体出場30回ということで表彰を受けました。さらに、インターハイへは空手道部女子団体とバドミントン部男子個人が出場を果たしました。文化部の活躍もめざましく、全国高等学校総合文化祭へは美術部が10年ぶりに出場を果たしています。

野球部は今年も満員の応援スタンドの声援を力に甲子園を目指し、1回戦対平田高校、2回戦対情報科学高校と勝ち上がっていきましたが、3回戦大社高校戦では0対2で惜敗し、ベスト8となりました。例年のことながら、1回戦から沢山の方々に応援をいただき、本当に感謝いたしております。

進路についても、この春卒業した113名はそれぞれがしっかりと自分の学びを生かし、目標を達成しています。就職希望者は18名いましたが、全員が公務員や県内外の企業に就職しています。また、進学においても地元島根大学をはじめとして国公立大学へ25名が合格し、私立大学や短大、専門学校への合格者はのべ110名に上ります。

また、これまでにも「地域とつながるキャリア教育」という取り組みを続けてきていましたが、今年度からは雲南市と連携して「教育魅力化」に取り組んでいくことになりました。この夏も、2年生は地域の自主組織の皆様に様々な形でお世話になりながら、「地域課題研究」を行ったところです。

来年はいよいよ創立百周年となります。百年の歴史の一翼を担い、織部の山に青春の時を謳われた皆様の志を受け継ぎ、次の新しい時代に踏み出す人材をはぐくむことに一層努めてまいりたいと思います。これまでにも様々な形で皆様にはご尽力を賜っております。そのことに感謝をしつつ、今後とも、母校に対するご支援、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

## 平成29年度 八雲会総会



平成29年度の八雲会総会を7月8日（土）に、36名出席のもと、今年度は大東地域交流センターにおいて開催しました。茶道部によるお手前と吹奏楽部による演奏が今年も披露されました。総会では、会長、校長、挨拶のあと議事に入り、平成28年度事業報告及び決算報告、平成29年度事業計画及び予算書等について報告がありました。百周年記念事業については、記念整備事業、寄付の状況等の説明があり、引き続き協力体制をとることを確認し、懇親会となりました。

今年度の総会の出席者は例年より少なかったですが、来年度は多くの方に出席していただけることを願っています。



## 関東支部会

事務局 佐藤 博芳 (32期)

平成28年関東支部会を平成28年10月22日（土）に「がんこ銀座店」で開催しました。八雲会本部から安原会長、今井校長先生をお迎えし、総勢18名で和やかな会となりました。安原会長から百周年に向けた取り組みについてお話をいただきました。また、今井校長先生より在校生が勉学、部活、地域交流等、多面的に活躍している状況（Facebook拝見しています）、他地域からの学生を迎え入れるための取り組みをお聞きし、百周年に向けて盛り上げていこうという気持ちを新たにしました。その後、おいしい料理にお酒も加わり、高校時代のやんちゃ

話、恋バナあり、近況報告ありと話が尽きず、とても短い時間を感じました。締めは恒例の校歌斉唱、皆さん大きな声で勝田の森の～♪を歌って翌年の再会を約し散会しました。

現支部長、理事と事務局を引き継いで4年になります。なかなか参加者を増やせないのが悩みですが、最近加わってくれた監査を加えて地道に取り組み（秋開催、昼時間の開催もその取り組みのひとつです）、沢山の会員の方と一緒に校歌を歌うことを当面の課題としています。





## 関西支部会

事務局 高橋 潮 (10期)

今年の関西支部総会は、4月22日、いつもと同じニューオオサカホテルで開催。本部から金築副会長(14期)と就任早々の江川教頭先生をお迎えして実施した。支部会員の出席は29名。とうとう30名を割り過去最低の集まりとなった。若い人は仕事や家庭の都合、年輩者は身体の不調が大きな欠席要因だった。出席者の平均年齢は75才。昨年が74歳だったので、同じ顔ぶれが1つ歳を取って集まったことになる。

午前中1時間は会議、午後3時間は懇親会として進行した。広木支部長(16期)の挨拶は、①百周年記念事業に絵画を寄贈された芦田裕昭さん(6期)の紹介、②大東西小学校で育ったプロ野球選手の福山博之(59期)と今年阪神に入団した糸原健斗(開星高校)の話題、③「マスターズ甲子園2016」に野球部OBが出場して大活躍したことを披露。金築副会長と江川教頭先生からは、①百周年記念事業の進行

状況、②生徒数と進路実績、③地域と密着した生徒活動、等々について挨拶と報告をいただいた。

懇親会は、金築副会長の乾杯の音頭で始まった。今回も中村淳さん(22期)から美味しいお酒の差入れがあった。竹下酒造の大吟醸「出雲誉」や故郷で評判の「簸川正宗」など、日頃口に出来ない美酒に呑み助共はご満悦、次々杯を重ねていた。円卓料理を囲みながら1時間ばかりは自由に歓談。残り2時間は、歌とトークを交えた賑やかな宴会となった。校歌から始まり応援歌・壮行歌と続くのはいつものパターン、ビールとお酒で喉は潤いご機嫌よろしく皆いい声で合唱した。昭和の懐かしい歌には、歌声喫茶さながら。島根の民謡「関の五本松」「安来節」も飛び出し、大いに盛り上がった。最後は、これも恒例となっている自衛隊勤務の瀧都さん(45期)の締め。一番若い彼女の音頭で万歳三唱をして幕を閉じた。



# 広島支部会

広島支部長 佐藤 眞

八雲会広島支部は、平成29年度総会を7月15日(土)、八雲会本部から中村訓子八雲会副会長(大東高等学校校長先生)、永瀬康典阿用支部長をお迎えし広島市南区のホテルニューヒロデンに於いて開催しました。当日は広島市及びその近郊から会員21名が出席し渡部剛幹事の司会で総会は始まり、佐藤眞支部長が「皆様大変お忙しいところ元気でご出席頂き嬉しく思うと同時に感謝申し上げます。出席者の方を拝見しますと昨年都合が悪く欠席された高8期の稲田さんそして高11期の野津さん、今年は元気に出席頂き再会できたこと嬉しく思います。また高18期の鮎川さん、高26期コンビの上代さん、黒目さんには久しぶりご出席頂き大変喜ばしく思います。支部活性化の手掛かりとなります。ちなみに広島支部の会員状況を申しますと現在186名登録されておりますが平成15年以降新規会員の登録がなく高齢化しています。総会出席メンバーもこの数年高齢化・固定化しているのが現状です。支部活性化のため皆様からの様々な情報を頂き幹事会中心に頑張りますので一層のご協力よろしくお願い致します。また来年皆さまと元気に再開できるよう祈念し

ます。」と開会の挨拶をしました。

続いて、この度、初めてご出席頂いた中村副会長、永瀬阿用支部長にそれぞれご挨拶頂き百周年記念事業進捗状況、寄付の状況、学校の近況、部活動状況等の話で、特に野球部は一昨年決勝戦で悔しい思いをしたが、それ以降県内外からの入部希望者がめざましく部員数57名と大所帯となっており、7月15日から始まる夏の大会を目指し「今年こそ甲子園へ」と日夜猛練習に励んでおり、そのひたむきに戦う姿勢が地域の絶大な応援・支援を受けていること、また「しまね留学」制度で東京など県外から入学した生徒を地域挙げて支えていること、そして大東出身のプロ野球選手で大フィーバーしている楽天福山君(本校卒業)と阪神糸原君との対決に興奮した。と安原会長が中央新報に投稿された記事の紹介、大東町養賀で行われたコウノトリの放鳥模様など、学校・地域の近況報告がありました。特に校長先生からは「本校の生徒は礼儀深くどこにいてもきちっと挨拶が出来、地域の皆様から大変愛されている学校です。」と嬉しそうにお話しされ、私たちも誇らしくお聞きしました。





引続き議事に入り広島支部の会計報告が満場一致で承認されました。この後毎年元気で出席頂いている高5期の狩野彰彦大先輩の乾杯音頭で懇親会に入り、久しぶりの出会いで賑やかに会話が進み、お互いの近況を確かめ合いました。校歌、応援歌、壮行歌が歌われるなか、瞬く間に時間が過ぎ、高17期の黒川陽右さんが「来年はこの会の参加者をぜひ倍にしましょう。そして必ずお会いしましょう」と再会を約束し力強く中締めしました。このあと、大多数の方に同ホテルでの二次会に参加頂き、更に飲み、語り合い、カラオケを歌い、自慢ののどを披露し、

賑やかで和やかな雰囲気の中で支部総会は終わりました。

来年も盛会に開催することを約束し散会しましたが、支部長挨拶にもありましたように広島支部も会員の高齢化という問題に直面しています。そのためには会員を増やし活性化させる必要があります。平成27年度に来広頂いた今井校長先生からも「卒業生に対し、最寄りの支部に入会するよう強く働きかけます。」との力強いお言葉を頂いております。会員数拡大のため皆様の一層の協力を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

## おりべ5期の会 2017

高校第5期卒業生同窓会・愛称「おりべ5期の会（代表・蓮岡法暲）」の2017年会を6月19日～20日、会員20名が参加して玉造温泉ホテル玉泉で開催しました。この1年で3名の学友が冥界へ旅立ち、また、欠席理由も「体調不良」が目立って増えている、いよいよ我々も「終活適齢期」に突入したことを実感しての「おりべ5期の会／2017」です。

今年の会員スピーチは橋本倭夫君（松江市）。自身のボランティアで行っている老健施設での絵画活動を、随筆「私の近況」に纏め、それを補足する形で施設の状況、人間模様などを興味深く話してくれました。

また、武田肇君（大東町）が、誤射事件で話題を集めた雲南市のコウノトリの生息状況やその後の取り組み状況等を、新聞記事を添えて解説してくれました。

毎回、生活史年表を寄せてくれた真下孝君（神戸市）は体調不良で今回は欠席。代わりに随筆「おりべ5期の会に想うこと」を寄せ、この会への思いを伝えてくれました。

開会の乾杯は嘉本静穂君（守山市）と武田肇君。カラオケの主演は舟木老弘君（大東町）や佐々木弘子さん

（大東町）。盛り上がったところで入江早苗さん（松江市）の指導で久々のフォークダンス。昔が蘇りました。

会の終りは恒例の校歌と「星影のワルツ」の大合唱。閉会の乾杯は共に広島市の狩野彰彦君と山本あさかさん。来年の再会を誓い合いました。

翌20日。せっかくの機会だからと有志で、国の名勝に指定されたばかりの奥出雲・桜井氏庭園を訪ねました。桜井氏庭園では松江の殿様・不昧公が名付けたという人工の滝「岩浪」等を楽しみ、行き帰りの車窓からは、奥出雲の新緑の中に際立つマタタビや栗の花に、老躯を癒される思いがいたしました。（事務局・加藤文則記）



## 私の近況～絵のボランティア活動～

高5期 橋本 倭夫

私、ご老人（斯くいう私もその一人ですが…）のデイサービスやショートステイの施設で、利用者の皆さんと一緒に、絵を描く会を始めて13年になりました。教職を退いた後、数度の転職を経て、平成16年から3か所の施設を、月2回ずつ訪問してきました。

これは、単なる絵の同好会の集まりではありません。

日常生活の中で、モヤモヤやギスギス等で不安を感じている方でも、絵を描くことで気分を紛らわしてもらえるようになれば…。それには教員時代専任した絵を仲立ちにして、そのお相手をボランティアで務めて恩返しできれば…。これが私の目論見です。

遠い昔の中学生時代に絵筆を握って以来のこととて、「何で今さら」と、初めから遣る気の無い方。「下手くそな私が、絵は、もうええわ」とジョーク混じりで誤魔化す方。「なんで俺に押し付けるのか!!」と、まるでプライドを傷つけられたかの如く、拒否反応よろしく私を睨みつける方。Etc…。

ここからスタートして「絵をもっと描きたい」とか、「俺、なかなかやるじゃん」と云ってもらえるまでの辛抱と工夫は、並大抵のものではありません。

多い日には15～16名で1時間～2時間。作品がほぼ出来上がった頃、「おやつタイム」が入ります。おやつは「冷やしプリン」を頬張りながら、目を細めて、掲示板に張られたご自分の作品に見入っておら

れる姿には、ジーンと来るものがあります。

「やって良かった」「まだまだやれるぞ」の遣る気と集中力、これは年齢には全く関係ないのだと痛感します。

絵を月々のカレンダーと合体させて、「世界に唯一つしか無いカレンダー」と銘打つと、皆に大人気の商品となります。

○ご家族の支援で、ご自分の家の玄関口からスタートし、各部屋中の壁に作品を飾り、102歳で亡くなられたおばあちゃん。

○現役時代、タイヤ販売に明け暮れる毎日で、【自分には絵は全く縁がない】と言い続けておられた87歳の男性、その方がついにはご自分の家の近くの公民館で個展開催。

これら忘れることのできない一齣です。

絵は画材（描く対象物）選びが勝負です。そのため、何処に何が有るのかの、年間通しての観察が必要です。そのための散策は欠かせませんが、この身一人では「怪しげな徘徊老人」と疑われ兼ねないので、今はお隣の愛犬をお借りして、足の裏に飛び出した「魚の目」を気遣いながらの、「犬の散歩」を偽装しての散策です。

大自然の光と風を浴びて、アウトドアへと出発、そして今日は、畑に捨てられた大根や赤カブをゲット!!

## 32会「祝傘寿・卒業60周年記念の会」

高9期 荒木 幸雄

大東高校第9期卒業生の32同窓会（代表・荒木幸雄）は5月20日、玉造温泉・松乃湯に於いて46名中15名が参加して開催しました。

冒頭、鬼籍に入られた恩師3名学友10名に黙祷しご冥福をお祈りしました。続いて唱歌「ふるさと」を斉唱し、岸野一郎君（雲南市）の司会のもと、代表者の挨拶に続き、山崎肇君（横浜市）の乾杯の音頭で宴会に移りました。安部貞夫君（雲南市）からは詩吟「四海波」の祝唄が会場いっぱい浪々と響きわたり、又、各々近況報告やカラオケ等で賑やかな祝宴となりました。後半は校歌を斉唱し高校時代に還り、元気で再会出来たことを喜び合いました。そして細貝俊治君（岡山市）、藤原博子さん（雲南市）からお開きの挨拶があり、締めは藤原善己君の1本締めでお開きとなり、フィナーレは「蛍の光」を歌い名残を惜しみつつ数年後には元気で再会す

ることを期して散会しました。

▽熱田修二、安部貞夫、荒木幸雄、飯浜和明、伊藤恭子、鳥谷毅、岸野一郎、郷原利雄、藤原博子、塩野紀富、石原佳蓉、藤原善己、細貝俊治、別所武夫、山崎肇





## 新会員紹介

### 高69期 寺本 智哉

私は今年の春に大東高校を卒業しました。今は地元の製造工場で働いています。主な仕事内容として、業務用厨房機器を製造しています。

仕事をしていく上で働くことの大変さや、自分にかかる責任感の重さを学ばされました。まだまだ仕事を覚えることがたくさんあるので、一日一日を大切に頑張っていこうと思います。また、後輩たちには学生生活を楽しんでもらい、一生の宝物になるようにしてもらいたいです。

大東高校の卒業生として、これからも大東高校を応援していこうと思います。



寺本 智哉

### 高69期 渡部 春花

4月に大学に入学し、気づけばもう夏休みを迎えました。私は今、大学で専攻している森林についての勉強を基盤とし、農業や世界の環境問題についても学んでいます。森林についての勉強は座学に限らず、実際に三瓶山に行きフィールドワークや合宿なども行って、知識を養うだけでなく現代の、また地元の森林を直接肌で体感することができます。また、自分の専門分野に限らず、前期は山陰の歴史や保険についても学ぶことができたり、留学生と会話をしたりと今まで体験したことのないことが日々の生活



渡部 春花



の中で起こり、とても刺激を受けています。

今こうやって自分のしたいことが勉強できているのは大東高校に入学し、地域の方々や卒業生の方々に支えられ充実した高校生活を送れたからこそだと思っています。私も後輩たちが充実した学校生活を送れるようサポートしていきたいと思っています。

## 平成28年度 大東高校八雲会一般会計決算書

### 1 収入の部

(単位 円)

| 費 目   | 予 算 額     | 決 算 額     | 比較増減額     | 備 考      |
|-------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 入 会 金 | 981,000   | 970,470   | ▲ 10,530  | 年額3,000円 |
| 繰 越 金 | 1,114,973 | 1,114,973 | 0         | 前年度繰越金   |
| 寄 付 金 | 500,000   | 365,000   | ▲ 135,000 |          |
| 雑 収 入 | 27        | 14        | ▲ 13      | 預金利息     |
| 合 計   | 2,596,000 | 2,450,457 | ▲ 145,543 |          |

### 2 支出の部

(単位 円)

| 費 目   | 予 算 額     | 決 算 額     | 比較増減額       | 備 考                                     |
|-------|-----------|-----------|-------------|---|
| 総 務 費 | 770,000   | 464,719   | ▲ 305,281   |   |
| 会 議 費 | 280,000   | 159,896   | ▲ 120,104   | 役員会、総会費                                 |
| 旅 費   | 300,000   | 204,460   | ▲ 95,540    | 支部会出席等旅費                                |
| 通 信 費 | 40,000    | 29,729    | ▲ 10,271    | 郵券代等                                    |
| 事 務 費 | 10,000    | 20,522    | 10,522      | 振込手数料等                                  |
| 管 理 費 | 140,000   | 50,112    | ▲ 89,888    | 会員登録、データ管理等                             |
| 事 業 費 | 1,250,000 | 1,099,575 | ▲ 150,425   |   |
| 八雲発行費 | 600,000   | 553,095   | ▲ 46,905    | 会報「八雲」印刷代、発送費等                          |
| 支部助成費 | 600,000   | 510,000   | ▲ 90,000    | 関東、関西、広島、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田、加茂の各支部 |
| 入 会 式 | 50,000    | 36,480    | ▲ 13,520    | 入会記念品                                   |
| 雑 費   | 50,000    | 2,160     | ▲ 47,840    | 支部リスト代                                  |
| 予 備 費 | 526,000   | 0         | ▲ 526,000   |   |
| 合 計   | 2,596,000 | 1,566,454 | ▲ 1,029,546 |   |

(収入総額) 2,450,457円

(支出総額) 1,566,454円

(差引残額) 884,003円・・・平成29年度へ繰越

#### 特別会計(積立)決算書

|           |          |
|-----------|----------|
| 平成27年度末残高 | 539,557円 |
| 平成28年度利息  | 13円      |
| 平成28年度末残高 | 539,570円 |

## 平成29年度 大東高校八雲会一般会計予算書

### 1 収入の部

(単位 円)

| 費 目   | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額     | 備 考           |
|-------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 入 会 金 | 966,000   | 981,000   | ▲ 15,000  | 年額3,000円×322名 |
| 繰 越 金 | 884,003   | 1,114,973 | ▲ 230,970 | 前年度繰越金        |
| 寄 付 金 | 400,000   | 500,000   | ▲ 100,000 | 寄付金           |
| 雑 収 入 | 97        | 27        | 70        | 預金利息          |
| 合 計   | 2,250,100 | 2,596,000 | ▲ 345,900 |               |

### 2 支出の部

(単位 円)

| 費 目   | 本年度予算額    | 前年度予算額    | 比較増減額     | 備 考  |
|-------|-----------|-----------|-----------|--|
| 総 務 費 | 600,000   | 770,000   | ▲ 170,000 |  |
| 会 議 費 | 230,000   | 280,000   | ▲ 50,000  | 役員会、総会費  |
| 旅 費   | 250,000   | 300,000   | ▲ 50,000  | 支部会出席等旅費   |
| 通 信 費 | 40,000    | 40,000    | 0         | 郵券   |
| 事 務 費 | 20,000    | 10,000    | 10,000    | 事務用品、振替払込書印字代等                                   |
| 管 理 費 | 60,000    | 140,000   | ▲ 80,000  | 会員登録、データ管理等                                      |
| 事 業 費 | 1,240,000 | 1,250,000 | ▲ 10,000  |  |
| 八雲発行費 | 600,000   | 600,000   | 0         | 会報「八雲」印刷代、発送費等                                   |
| 支部助成費 | 600,000   | 600,000   | 0         | 関東、関西、広島、松江、宍道、加茂、木次、大東、春殖、幡屋、佐世、阿用、久野、海潮、塩田の各支部 |
| 入 会 式 | 40,000    | 50,000    | ▲ 10,000  | 入会記念品  |
| 雑 費   | 10,000    | 50,000    | ▲ 40,000  | 慶弔費等   |
| 予 備 費 | 400,100   | 526,000   | ▲ 125,900 |  |
| 合 計   | 2,250,100 | 2,596,000 | ▲ 345,900 |  |

#### 特別会計(積立)予算書

|              |          |
|--------------|----------|
| 平成28年度末残高    | 539,570円 |
| 平成29年度利息     | 30円      |
| 平成29年度末残高見込額 | 539,600円 |



# 平成28～29年度 八雲会役員一覧

| 役職        | 氏名    | 期     | 役職  | 氏名    | 期   |
|-----------|-------|-------|-----|-------|-----|
| 顧問        | 川上 朋良 | 高3    | 副会長 | 景山 源栄 | 高15 |
|           | 角谷 雄輔 | 高7    |     | 中村 訓子 | 校長  |
|           | 景山 純孝 | 高9    | 監事  | 増田 敏男 | 高10 |
| 会長 安原 重隆  | 高11   | 狩野 健吉 |     | 高18   |     |
| 副会長 太田多美子 | 高13   | 石川 辰子 |     | 高23   |     |
|           | 金築 暎次 | 高14   |     |       |     |

## 【理事】

| 地区 | 氏名    | 期   | 地区 | 氏名    | 期   |
|----|-------|-----|----|-------|-----|
| 大東 | 蘆田 道昭 | 高16 | 加茂 | 金築 暎次 | 高14 |
|    | 森脇 誠夫 | 高10 |    | 岸本 邦夫 | 高19 |
|    | 光谷由紀子 | 高18 |    | 斉藤 雅孝 | 高28 |
|    | 青木 愛治 | 高18 |    | 畑 宏明  | 高29 |
|    | 糸川 栄一 | 高19 |    | 加納 忠夫 | 高31 |
|    | 安部 幸治 | 高24 |    | 高橋 雄二 | 高32 |
| 春殖 | 横山 美昭 | 高20 | 木次 | 佐藤 弘之 | 高23 |
|    | 木村 晋吾 | 高27 | 宍道 | 渡部 清美 | 高27 |
| 幡屋 | 森山 武史 | 高25 | 松江 | 細木 勝美 | 高18 |
|    | 山崎 英志 | 高29 |    | 八幡 憲次 | 高19 |
| 佐世 | 錦織 涿郎 | 高14 | 広島 | 佐藤 眞  | 高17 |
|    | 錦織 一夫 | 高17 |    | 富久 禮識 | 高6  |
| 阿用 | 永瀬 康典 | 高18 | 関西 | 佐藤 和紀 | 高12 |
|    | 陶山 隆之 | 高17 |    | 広木 益夫 | 高16 |
|    | 矢壁 正弘 | 高28 | 関東 | 鏑木 茂雄 | 高32 |
|    | 安部万里子 | 高28 |    | 持田 啓司 | 高32 |
| 久野 | 堀江 善彦 | 高23 |    |       |     |
|    | 上代 英治 | 高29 |    |       |     |
| 海潮 | 新田 昭隆 | 高15 |    |       |     |
|    | 木村 昭憲 | 高17 |    |       |     |
|    | 宮川 稔  | 高27 |    |       |     |
| 塩田 | 新田 国善 | 高27 |    |       |     |

## 【代議員】

| 地区   | 氏名    | 期   | 地区   | 氏名    | 期   |
|------|-------|-----|--|-------|-----|
| 大東   | 下見 美光 | 高24 | 松江   | 岩橋 弘政 | 高18 |
|      | 小山 益男 | 高20 |  | 勝部 修  | 高19 |
|      | 狩野 恵子 | 高24 | 広島   | 渡部 剛  | 高16 |
|      | 山本 司  | 高32 |  | 三島 暎子 | 高17 |
| 春殖   | 糸原 優二 | 高33 | 関西   | 高橋 潮  | 高10 |
|      | 田中 久志 | 高33 | 関東   | 佐藤 博芳 | 高32 |
| 幡屋   | 郷原 辰雄 | 高22 | <b>【八雲会支部長】</b><br>大東支部 蘆田 道昭<br>春殖支部 横山 美昭<br>幡屋支部 森山 武史<br>佐世支部 錦織 涿郎<br>阿用支部 永瀬 康典<br>久野支部 堀江 善彦<br>海潮支部 新田 昭隆<br>塩田支部 新田 国善<br>加茂支部 金築 暎次<br>木次支部 佐藤 弘之<br>宍道支部 渡部 清美<br>松江支部 細木 勝美<br>広島支部 佐藤 眞<br>関西支部 広木 益夫<br>関東支部 鏑木 茂雄 |       |     |
|      | 舟木 忠夫 | 高24 |  |       |     |
|      | 武田 良伸 | 高32 |  |       |     |
| 田中 互 | 高37   |     |  |       |     |
| 佐世   | 安部 博  | 高18 |  |       |     |
|      | 高橋 敬二 | 高22 |  |       |     |
|      | 木色 薫  | 高20 |  |       |     |
| 阿用   | 森山 肇  | 高24 |  |       |     |
|      | 安井 修  | 高25 |  |       |     |
| 久野   | 長妻 賢二 | 高32 |  |       |     |
|      | 三澤 郁穂 | 高35 |  |       |     |
| 海潮   | 岩田 和義 | 高19 |  |       |     |
|      | 福間 廣明 | 高20 |  |       |     |
|      | 佐々木 徹 | 高23 |  |       |     |
|      | 山根 和幸 | 高25 |  |       |     |
| 塩田   | 安達 隆亜 | 高42 |  |       |     |
|      | 竹村 治美 | 高17 |  |       |     |
| 加茂   | 錦織 直行 | 高19 |  |       |     |
|      | 吉岡 敏隆 | 高27 |  |       |     |
| 木次   |       |     |  |       |     |
| 宍道   | 佐藤 和彦 | 高32 |  |       |     |

## 大東高等学校事務局

TEL (0854) 43-2511 FAX (0854) 43-2512

|                 |              |                |              |
|-----------------|--------------|----------------|--------------|
| 事務局長 江川 数司 (教頭) | 幹事長 森山 智 高32 | 幹事 天野 昌範 (事務長) | 幹事 恩田 守 高32  |
| 幹事 成相 智志 高33    | 幹事 小山 剛 高35  | 幹事 加藤 宏明 高57   | 幹事 若槻 太一 高63 |
| 幹事 小山美紀子        |              |                |              |

よろしくお願ひします。

# 八雲会

## 平成28年度事業報告・平成29年度事業計画

### 平成28年度 事業報告

#### 平成28年

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 4月23日(土)  | 関西支部会<br>(会長・藤原百周年副委員長・校長) |
| 5月2日(月)   | 第1回校内幹事会(役割分担)             |
| 5月12日(木)  | 監査会(H27年度決算)               |
| 5月20日(金)  | 役員会(決算、予算、事業、総会)           |
| 6月15日(水)  | 大東支部会(成相)                  |
| 7月4日(月)   | 第2回校内幹事会(総会)               |
| 7月9日(土)   | 八雲会総会                      |
| 7月16日(土)  | 広島支部会(太田副会長・教頭)            |
| 7月17日(日)  | 塩田支部会                      |
| 8月10日(水)  | 阿用支部会(恩田)                  |
| 9月        | 会報「八雲」第53号発行               |
| 10月22日(土) | 関東支部会(会長・校長)               |
| 11月22日(火) | 春殖支部会(森山)                  |
| 11月22日(火) | 海潮支部会(恩田)                  |

#### 平成29年

|          |               |
|----------|---------------|
| 1月28日(土) | 佐世支部会(加藤)     |
| 2月17日(金) | 幡屋支部会(会長・成相)  |
| 2月18日(土) | 第3回校内幹事会(入会式) |
| 3月1日(水)  | 第69期八雲会入会式    |
| 3月5日(日)  | 久野支部会         |
| 3月8日(水)  | 加茂支部会         |

### 平成29年度 事業計画

#### 平成29年

|           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 4月22日(土)  | 関西支部会(金築副会長・教頭)       |
| 5月1日(月)   | 第1回校内幹事会(役割分担)        |
| 5月13日(土)  | 監査会(H28年度決算)          |
| 5月18日(木)  | 役員会(決算、予算、事業、総会)      |
| 6月20日(火)  | 大東支部会(小山剛)            |
| 6月26日(月)  | 第2回校内幹事会(総会)          |
| 7月8日(土)   | 八雲会総会                 |
| 7月15日(土)  | 広島支部会<br>(永瀬阿用支部長・校長) |
| 8月3日(木)   | 阿用支部会(校長)             |
| 10月       | 会報「八雲」第54号発行          |
| 10月21日(土) | 関東支部会                 |
| 月 日( )    | 松江支部会                 |
| 月 日( )    | 春殖支部会                 |
| 月 日( )    | 幡屋支部会                 |
| 月 日( )    | 佐世支部会                 |
| 月 日( )    | 海潮支部会                 |
| 月 日( )    | 久野支部会                 |
| 月 日( )    | 塩田支部会                 |
| 月 日( )    | 加茂支部会                 |
| 月 日( )    | 穴道支部会                 |
| 月 日( )    | 木次支部会                 |

#### 平成30年

|          |               |
|----------|---------------|
| 2月19日(月) | 第3回校内幹事会(入会式) |
| 3月1日(木)  | 第70期八雲会入会式    |



# 「八雲会」へのご寄付のお礼とお願い

昨年の会報「八雲」で寄付金をお願いをいたしましたところ、日本の各地にいらっしゃる卒業生の皆様より寄付を頂戴しました。この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。今年も引き続き、皆様のご理解、ご支援をいただきますようお願いいたします。

## 1. 寄付状況

◇総額：362,000円      ◇振込人数：105人（1人で2回のご寄付の場合は、2名としております）

◇都道府県別寄付状況（人）

|       |       |       |      |      |       |
|-------|-------|-------|------|------|-------|
| 北海道 1 | 東京 9  | 神奈川 1 | 千葉 4 | 埼玉 4 | 愛知 4  |
| 岐阜 1  | 滋賀 1  | 大阪 9  | 京都 3 | 奈良 1 | 和歌山 1 |
| 鳥取 4  | 島根 49 | 岡山 3  | 広島 7 | 山口 2 | 福岡 1  |

◇口別寄付状況（人）（連名でのご寄付の場合は1名としております） 1口 1,000円

1口 32      2口 17      3口 27      5口 15      10口 14

## 2. 寄付者芳名録（期順、敬称略）※平成28.7.28～平成29.7.31までのものです。

| 期     | 氏名    | 都道府県 | 期    | 氏名    | 都道府県 | 期    | 氏名    | 都道府県 |
|-------|-------|------|------|-------|------|------|-------|------|
| 実女8期  | 森山 早苗 | 島根   | 高10期 | 高橋 勝彦 | 大阪   | 高19期 | 鶴原 武夫 | 岡山   |
| 高女2期  | 本池 照子 | 埼玉   | 高10期 | 星野 進  | 大阪   | 高19期 | 今岡 光範 | 広島   |
| 高女4期  | 岡田 昭榮 | 島根   | 高10期 | 高橋 潮  | 奈良   | 高19期 | 郷原 保男 | 島根   |
| 高女5期  | 森山 匡子 | 島根   | 高11期 | 安原 重隆 | 島根   | 高19期 | 布野 悦子 | 島根   |
| 高女5期  | 山根恵美子 | 山口   | 高11期 | 武田 明  | 東京   | 高20期 | 小西己代子 | 鳥取   |
| 高女7期  | 広江 佳美 | 島根   | 高11期 | 渡部 富在 | 大阪   | 高21期 | 鍛冶 咲子 | 大阪   |
| 高女7期  | 榊原 寛子 | 島根   | 高11期 | 加納 稔  | 愛知   | 高21期 | 奥津 正江 | 岡山   |
| 高女併中1 | 石田 守子 | 島根   | 高11期 | 岸根 武子 | 千葉   | 高22期 | 斉藤 鈴子 | 愛知   |
| 高女併中1 | 勝島 洋子 | 島根   | 高12期 | 岩田 昭雄 | 島根   | 高22期 | 吉岡 祥治 | 島根   |
| 高女併中1 | 原 サトコ | 東京   | 高12期 | 土谷 武盛 | 島根   | 高22期 | 武田 文夫 | 東京   |
| 高女併中1 | 水本 静恵 | 大阪   | 高12期 | 三上 紘道 | 埼玉   | 高22期 | 薄根 貞治 | 福岡   |
| 高1期   | 多賀 紀子 | 島根   | 高12期 | 佐藤 安男 | 岐阜   | 高22期 | 高橋 敬二 | 島根   |
| 高3期   | 勝部美保子 | 島根   | 高13期 | 太田多美子 | 島根   | 高23期 | 篠 洋一  | 広島   |
| 高4期   | 打海 寿子 | 広島   | 高13期 | 谷水 規子 | 鳥取   | 高23期 | 門脇 文雄 | 北海道  |
| 高4期   | 南雲 宏  | 千葉   | 高13期 | 佐藤 勝江 | 東京   | 高23期 | 小室貴久枝 | 愛知   |
| 高4期   | 大屋八重子 | 島根   | 高14期 | 安部 捷里 | 島根   | 高24期 | 前田 美子 | 京都   |
| 高5期   | 小玉 成美 | 東京   | 高14期 | 安原知加子 | 島根   | 高24期 | 岡本 順子 | 岡山   |
| 高5期   | 嘉本 静穂 | 滋賀   | 高14期 | 角谷 泰輔 | 島根   | 高25期 | 森山 厚一 | 島根   |
| 高5期   | 福村 陽子 | 島根   | 高14期 | 高橋 良次 | 島根   | 高25期 | 森山 洋子 | 島根   |
| 高6期   | 舟木 俊夫 | 島根   | 高14期 | 錦織 涿郎 | 島根   | 高26期 | 福間 美幸 | 島根   |
| 高6期   | 永瀬 清  | 神奈川  | 高15期 | 山崎 昭子 | 鳥取   | 高30期 | 嘉本 伸一 | 島根   |
| 高7期   | 佐々木正夫 | 京都   | 高15期 | 稲田 博夫 | 山口   | 高31期 | 神庭 薫  | 島根   |
| 高7期   | 佐藤 年成 | 東京   | 高15期 | 高島 節郎 | 東京   | 高32期 | 森山 智  | 島根   |
| 高8期   | 金築 敏子 | 千葉   | 高15期 | 山中 茂樹 | 埼玉   | 高32期 | 西村 隆正 | 島根   |
| 高8期   | 瀧 清   | 島根   | 高16期 | 長谷川 亨 | 島根   | 高32期 | 佐藤 博芳 | 東京   |
| 高8期   | 鳥谷 登  | 島根   | 高16期 | 松浦 孝保 | 鳥取   | 高33期 | 金森 正  | 大阪   |
| 高8期   | 金森 博江 | 島根   | 高16期 | 広木 益夫 | 大阪   | 高33期 | 野原知恵美 | 広島   |
| 高家8期  | 鳥谷美保子 | 島根   | 高17期 | 三島 暁子 | 広島   | 高34期 | 西 洋子  | 和歌山  |
| 高家8期  | 堀江 久美 | 島根   | 高17期 | 荒木千代美 | 大阪   | 高35期 | 勝部 清  | 島根   |
| 高9期   | 内田 紀子 | 大阪   | 高17期 | 山崎 善吉 | 愛知   | 高36期 | 江藤 誠  | 島根   |
| 高9期   | 内田 邦昭 | 広島   | 高17期 | 徳川 秀子 | 東京   | 高36期 | 吉木 節  | 千葉   |
| 高9期   | 細木 弘道 | 島根   | 高17期 | 錦織 一夫 | 島根   | 高36期 | 中島 俊光 | 京都   |
| 高9期   | 景山 純孝 | 島根   | 高18期 | 福本 亨  | 埼玉   | 高44期 | 安原みずほ | 島根   |
| 高10期  | 白名 弘子 | 島根   | 高18期 | 高橋 計也 | 島根   | 高60期 | 佐藤 由夏 | 島根   |
| 高10期  | 菅沢 文子 | 島根   | 高19期 | 門脇 満  | 広島   |      |       |      |

・本人死去によるご家族の寄付あり

## 振込方法 (百周年寄付金用の振替用紙とお間違えにならないようお願いいたします。)

### ◆寄付金額：一口 1,000円

専用振込用紙を年に一度お送りしている会報誌『八雲』と一緒にお届けします。  
一口1,000円から受け付けさせていただきます。

### ◆振込先：ゆうちょ銀行 (振込手数料はかかりません)

口座記号番号 **01390-5-103127**

口座名称 **八雲会**

※他行等からの上記口座へのお振込の場合は下記内容をご指定ください。振込手数料は差し引いてご入金ください。

店名(店番) **一三九(イチサンキュウ)店(139)**

預金種目 **当座**

口座番号 **0103127**

### ◆その他

- ・卒業生のお名前で(ご家族の方等が振り込まれる場合も)お振り込みください。
- ・通信欄に卒業期、または卒業年度をお書きください。
- ・振込期限はありません。(随時受付をしています)

## 「百周年記念事業」への寄付のお礼

「百周年記念事業」へ、卒業生の皆様をはじめ多数の方より寄付を頂戴しました。この紙面を借りまして、心より御礼申し上げます。以下の寄付状況は、平成29年8月4日までのものです。寄付者のご芳名は追ってお知らせします。

### 寄付状況 (2,560万円)

◇八雲会(特別会計)より……570万円

◇集金(大東町、加茂町の八雲会各支部)によるもの……1,142万円

#### ・支部別

|            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 大東支部 295万円 | 阿用支部 118万円 | 春殖支部 138万円 | 久野支部 23万円  |
| 幡屋支部 139万円 | 海潮支部 100万円 | 佐世支部 150万円 | 加茂支部 179万円 |

(万円未満は示しておりません)

◇振込によるもの……435万円(475人)

#### ・都道府県別寄付状況(人)(卒業生のみ)(433人)

|       |       |       |       |       |       |        |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 北海道 2 | 福島 1  | 東京 23 | 神奈川 8 | 茨城 2  | 埼玉 6  | 千葉 11  |
| 愛知 12 | 岐阜 2  | 長野 2  | 新潟 2  | 石川 1  | 三重 1  | 滋賀 5   |
| 大阪 49 | 京都 13 | 奈良 11 | 和歌山 2 | 兵庫 14 | 鳥取 10 | 島根 207 |
| 岡山 10 | 広島 31 | 山口 3  | 徳島 1  | 福岡 2  | 佐賀 1  | 大分 1   |

#### ・島根県内地域別(人)(卒業生のみ)(207人)

|        |        |        |        |       |        |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 安来市 2  | 松江市 89 | 出雲市 31 | 大東町 36 | 加茂町 5 | 木次町 27 |
| 三刀屋町 8 | 奥出雲町 6 | 大田市 1  | 江津市 1  | 浜田市 1 |        |

#### ・金額別寄付状況(人)(連名での寄付の場合は1名としております)

|                 |                 |            |
|-----------------|-----------------|------------|
| 20万円…1          | 10万円…4          | 5万円…9      |
| 3万円以上～5万円未満……30 | 2万円以上～3万円未満……10 | 2万円未満……421 |

◇現金直接払いによるもの……5万円(計4件)

◇PTA支援金、現教職員によるもの……408万円



# 「創立百周年記念誌」希望者にお配りします

創立百周年記念事業の中で「記念誌」の発行も準備を進めています。この記念誌の配布は、当初関係者・寄稿者および3万円以上の寄付者のみと考えておりましたが、ぜひ手にして読みたいという問い合わせが寄せられましたので、希望者の皆様にもお配りします。記念誌の内容、希望とりまとめ等は下記のとおりです。

## 記

### 1. 記念誌の内容

紙面の半分近くが写真で、「読みやすく、分かりやすいビジュアル（視覚的）型」を旨として編集されています。「写真で綴る本校百年の変遷」が中心で、大正や昭和初期の写真からスタートしています。

目次は、「学園創設の背景」「郡立農業学校・県立農学校時代」「県立高等実業女学校時代」「県立高等女学校時代」「新制県立大東高等学校の誕生と学園の拡充」等と進み、ほぼ8割完成しています。説明文のみならず、「あの日あの頃」欄では、100人以上の皆さんの思い出文を載せ「コラム」欄も設けて親しみやすい「記念誌」に仕上がっています。

### 2. 希望者へのお配り計画

実費（3000円程度）でお配りします。希望の方は平成30年8月末までに大東高校内百周年事業事務局まで往復はがきでお申し込みください。受付確認をするためです。確実にお届けするためにお電話や口頭での申し込みはご遠慮ください。（下記「往復はがきの書き方」参照）

### 3. 寄稿募集と発行予定

「創立百年に寄せて」の寄稿については前号でも募集をしましたが、記念誌刊行部で個々にお願いをする運びにしています。平成30年10月の記念式典の記事も掲載し、31年3月（卒業式）までに発行する予定です。

## 往復はがきの書き方

- ・ 往信の宛名面 郵便番号 699-1251 雲南市大東町大東637 大東高等学校 百周年事業事務局
- ・ 返信の宛名面 記念誌希望者の郵便番号、住所、氏名
- ・ 往信の裏面 記念誌希望と書き、郵便番号・住所・氏名・卒業期または卒業年・電話番号
- ・ 返信の裏面 何も書かないでください

往信の宛名面

返信の裏面

返信の宛名面

往信の裏面

|    |  |              |    |                      |  |
|----|--|--------------|----|----------------------|--|
| 62 | 699-1251<br>雲南市大東町大東637<br>大東高等学校<br>百周年事業事務局<br>行 | 何も書かないでください。 | 62 | 住所、氏名<br>記念誌希望者の郵便番号 | 電話番号<br>氏名・卒業期または卒業年<br>郵便番号・住所<br>記念誌希望 |
|----|--|--------------|----|----------------------|--|

## 大東高校「おはよう日本」で全国放映

大東高等女学校の女子学生が、昭和20年、満州へ連れ出された事実について、NHK松江放送局の取材があり、終戦記念日の8月15日、NHK「おはよう日本」で全国へ放映されました。

当時、あどけない少女たちが混乱に巻き込まれました。その時の隊長であった池田（嵐谷）国枝さんへのインタビューの中で、「食料はあるし治安は大丈夫だ、などと言われて命令の翌日満州へ出発した。現地は話とはかけ離れていた。8月には目の前で多くの人が飢えと病で亡くなっていった。灰色の青春だった。」などと述べておられます。

番組は、戦争の記憶が薄れる中、今の学生たちにも歴史を引き継ごうと百周年記念誌の中にも掲載予定です、と結んであります。



### 大東高女皇国農村学徒報国隊

第4章 第4節 学園と戦争の中の一文を紹介します（百周年記念誌にも掲載予定）



が国の食糧難を救うため、満州三江省の島根県報国農場で、半年間、大豆やジャガイモなどの農産物の生産に携わることになった。4月2日、16歳前後の女学生たちは国に報いたいという思いを胸に満州に向け出発した。

勤労働員により他の生徒が工場へ出かけた後の学校を護り、農園での農作業や農兵隊の炊事などに従事することを目的に、昭和19年（1944）11月27日、皇国農村学徒報国隊の第1次結成式が行われた。隊員は希望者の中から学校長が人選し、第1次隊として5期生18名（1名は病気のため除隊）が選ばれた。

当初は飯石郡吉田村での製炭作業などに従事していたが、20年（1945）3月、満州への動員命令が下り、戦争末期の我

### 編集後記

会報「八雲」の発行に際しましては、ご多用の中、今年も多くの皆様のご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

朝晩が冷え込む季節となりましたが、皆様の地域はいかがでしょう。冬の寒さも厳しくなることでしょう。皆様、健康に留意されお過ごしください。

### 大東高校内八雲会本部事務局

島根県立大東高等学校  
〒699-1251 島根県雲南市大東町大東637  
TEL (0854)43-2511・FAX (0854)43-2512  
E-mail: daito-hs@edu.pref.shimane.jp  
ホームページ <http://www.daito-h.ed.jp/>  
\*\*\*大東高校公式Facebookもご覧ください\*\*\*